

## 日本あちこち河川遡行記（第317回）

大阪-5.津田川（その2）後半 令和2年3月5日（木）晴一時曇り

[ 続き ]

滝から府道に戻り遡行を再開する。これまでの台地から山地に入り薄暗い山道に変わる。東側にある「神於山（H=295m）」の登山道にこれから登る二人が準備をしている。川沿いにどこでも見かける廃材置き場、建設会社の資材置き場等が道路際に連なる。迷惑施設はなぜか川沿いに有るのだ。溪谷が尽きる手前の左側に細長い軍人墓地が連なる。大きな墓石に花も添えられている。大阪府南部出身の戦死者は手厚く遇されているな。



16.ここの軍人墓地も大切に

やがて溪谷が尽き平地が現れる。地形図を見ると和泉山脈から多くの支脈が北に延びているが、岸和田市と貝塚市では一旦山並みが終わり平地となり再度低い山並みが東西に延びている。これは支脈の一部が東西の断層で陥没と隆起に伴い生じた前山と想定する。和泉山脈の南部は中央構造線で主脈は大規模断層で生じたのを思いだしたことから推理する。タモリさんどうですか？

府道が川を越える「船渡橋」はその斜角が20度程度の凄い角度で川を越えている。2車線の道路の1車線部ともう一方の1車線部が完全にずれている。川のなかほどに橋脚を建てるわけにいかず、大股ぎ橋脚構造になっている。



17.斜角20度の「船渡橋」は大股ぎ構造

府道を離れ川沿いに上流に向かい幾つかの橋を見て行く。帰りは「河合」バス停からとじていたが、事前に調べた府道沿いのバス停とは別の同名のバス停が国道170号（旧道）に有るのを見つける。そうか路線が二手に分かれており、河合バス停は合流する手前にそれぞれ有るのだな。それなら国道側のバス停名を東河合とでもしてくれれば間違わないのに・・・。

急いで予定していた阪和道の橋を下から見上げて府道を下って行く。二手に分かれた路線のバスはそれぞれ2時間に1本で14時8分発は国道側からなので次の「船渡」バス停に急ぐ。14時9分にバス停に着き後ろを見ると岸和田行きが交差点を右折してやってくる。滑り込みセーフ。心臓に悪いなー。



18.ここの阪和道はPCでは無く鋼橋だ

東岸和田駅に戻り駅内の全国チェーンのパン屋で珈琲を飲み暫しこの後の時間の過ごし方を考える。今日は何時ものこだまが取れず、1時間後の18時29分発なので時間がたっぷりである。これまで大阪育ちなのに「仁徳天皇陵」に行ったことが無いので立ち寄ることにする。区間快速に乗り鳳で各停に乗り換え百舌鳥駅で下車。

「鳳」は全国で数か所の漢字一文字駅で一字で4読みの珍しい漢字である。下車した「百舌鳥」は反対に3漢字を2読みのこれも珍しい漢字である。てなわけで料金図を

カシャ。ついでに、ここから津久野までは何分で着くの？直ぐに西にある天皇陵に向かう。



19. 「百舌鳥」と「鳳」二つの珍しい名前  
の駅が近くに

20. 仁徳天皇陵に向かう

陵墓の南側は公園になっており、小さな陵墓が手前に有り解説板によるとこれを「陪塚（ばいちょう）」と謂うようだ。ここ以外にもいくつかの陪塚が天皇陵の周囲に有るようだ。



21. 「陪塚」と謂う陵を初めて知る

三重の堀の外側の堀沿いの道を西に向かう。地図で見るとこの辺りの墳墓はなぜか南北方向に向きがあるのでは無く傾きがある。どうやら海岸線と平行に作られているので海から見た時に大きく見せるための工夫と判定する。西の国から来た渡来人に大和の凄さを見せつける役割が有ったと推測する。動物の雄と一緒にや。

外堀には見事な黒松が並んでいる。遥拝所は白砂と黒松のモノトーン調の簡素な佇まいで流石にデカイ。



22.これまで大和で見て来た陵とは段違い



23.外堀には見事な黒松が延々と



24.百舌鳥の陵は日本人の心の駅だ

駅に戻る途中に土産物を守る建物が有ったので立ち寄る。なんとあの「てなもんや三度笠」でコマーシャルしていた「当たり前田のクラッカー」を土産物として売っている。ここ堺に工場が在るのだそう。毎週日曜日に見ていた番組だが前田クラッカーは見たことも食べたことも無いのでお買い上げ。「まことちゃん、こうたで一」。

百舌鳥駅に戻ると早咲きの桜が満開である。また電車に乗るのでマスクを掛けてホームに向かう。



25.あの「あたり前だのクラッカー」を  
土産に

26.早咲きの桜が咲いている

新大阪駅の来ると東海道新幹線が強風で発生した障害物除去のため25分の遅れを知らせている。こだまは時刻通り発車したが途中の姫路で本来は先に着いているべき「のぞみ」からの乗り換え客（相生だけ）を拾うため30分ほどの長時間停車をすると車内放送をする。頭の固い JR 西の列車指令だ。指令よりもマニュアルを作った JR がオカシイ。たった数名の乗り換え客のため100名程度乗っている多くの乗客を必要以上待たせ、それぞれの岡山などでの乗り換えを無視したやり方に車掌室に行き文句を言うておく。在来線ではもっとひどく特急からの接続待ちで満員の通勤時間帯に待たせる。20分置きに電車が走っているのだから次の電車に乗せれば良いのだ。関係の無い多くの者にしわ寄せを持ってくるな。こだまでもみんな特急料金を払っている。かつての全国に数本の特急、軍人、華族、高級官僚、政治家が利用していた時代の扱いが今に残っている。遅れを無関係な多くの人に移すのは新型ウイルスと同じだ。

本日の歩行距離：8.3km。調査した橋の数：15。

総歩行距離：10,830.3km。総調査橋数：14,181。

使用した1/25,000地形図：「岸和田東部」（和歌山10号-1）、「内畑」（和歌山10号-2）